



特定非営利活動法人

日本防災士会

奈良県支部 広報



Page2 支部長からのメッセージ

本部からのメッセージ

Page3 日本防災士会奈良県支部事業報告

防災実技講習会に参加して

Page4 防災士紹介 No.1 木村尚史氏

日本防災士会 奈良県支部 組織図

防災士会入会のご案内

**No.1
2009**

設立一周年記念創刊号

支部長からのメッセージ

日本防災士会奈良県支部の活動誌発刊に際し、支部長といたしまして一言掲載させていただきます。

兵庫県南部地震から早くも14年が経ちました。これを教訓として誕生した防災士も今や3万名に達しようとしています。「自助・共助・公助」という言葉が一般に知られるようになったのは、「兵庫県南部地震」がきっかけです。この震災では、中でも「共助」の重要性が強く認識されました。激しい揺れのために、倒壊した家屋の下敷きになった多くの人が、近隣の住民に救助されたり、住民同士が協力して延焼火災の防止に成功したりした例が数多くあります。

しかし、その共助を効果的・能率的に行うためには、防災の知識を備え、緊急時には住民に適切な助言や指示を与えるリーダーが必要不可欠です。そのようなリーダーを養成するため、有志が集い「防災士」制度の設立検討を開始したのが、平成13年(2001年)4月のことでした。

それから3年半、防災士制度は本格的にスタートし、平成16年10月に防災士のスキルアップやネットワークを支援する日本防災士会が発足しました。自らの利益の追求でなく、地域社会への貢献を目的とする防災士の仕事は非常に尊いものと思います。

私は、平成17年8月に防災士の認証を受けましたが、当初は防災士として何をすればいいのかと悩んでおりました。そんな時、日本防災士会の現状や活動報告が掲載されている、防災士会の会報が送られてきました。その中に都道府県の支部結成状況も掲載されていたのですが、そこで私は奈良県に支部がない事を知りました。奈良県は非常に災害が少ない所であり、少しでも県民の危機感を高めるため、防災・減災の普及啓発を行うことが必要であると思いました。

防災士は、自助、共助の精神のもと、家庭をはじめとして、地域や職場で防災力の向上のため活躍が期待され、そのための専門的な知識・技能を身につけた人々であります。災害といっても様々であり、その対策もたえず見直されています。こうした中で、防災士がよりよくその能力を発揮するためには、防災士相互の協力が必要不可欠です。防災士一人ひとりでは、その動きにも限界があります。防災士がその知識を更新し、たえず最良の資質を身に付けるためには、個々の防災士の活動を強力にバックアップするネットワークが必要となります。

以上のような考えから、有志の防災士を招集し、日本防災士会とも協力して、防災士相互の交流を通じての研鑽の場として、現在の支部役員様方や多くの皆様の協力のおかげを以ちまして、日本防災士会奈良県支部を20年4月27日に設立する運びとなり、全国で35番目の設立と相成りました。現在会員数は125名です。

会員の皆様方、今までに各種訓練等の研修を行いました。今後官公庁並びに地域を交えた訓練等に参加して行く計画であります。皆様も参加をお願いいたします。なお、今後会員の勧誘をして頂き、会の益々の充実を図っていきたくと思っていますので、よろしくお願いいたします。

日本防災士会 奈良県支部 支部長 木本喜信



本部からのメッセージ

日本の国土面積は、地球の全表面積・周辺海域を含めてもやっと1%程度です。世界中で起きる地震の約10%は日本とその周辺で発生しています。明治以来、地震災害によって死者は20万人以上といわれます。兵庫県南部地震を教訓に防災士(自助・互助・協働を原則とし、減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、そのために十分な「意識、知識、技能」を有する者)が生まれ、現在全国の有資格者は約3万人にのぼっています。

平成16年10月に日本防災士会が全国の防災士の束(たばね)として誕生いたしました。日本防災士会は、防災士相互の協力促進を図ると共に、個人では取り組みの難しい活動にも、団体として取り組んできました。また、日本防災士会は、平常時には日頃から地域や職場の減災活動に取り組むボランティア団体としても活動しています。

奈良県支部は平成20年4月に設立され当初より近隣支部・行政・地域とも連携を計られ防災活動を実施されています。今後の奈良県支部のご活躍と継続される防災活動を期待いたします。最後に、愛知県保坂支部長の提唱されている格言を付記いたします。

忘災は防災の敵である。

日本防災士会 組織委員長 大住光男



日本防災士会奈良県支部事業報告

I. 奈良県支部及び本部関係

1. 防災研修会「救助技術の習得」

- とき・ところ：8月9日・奈良県防災センター ○参加者：36名
○主な内容：講演「被災地での活動」と実技研修「ロープワーク」
(講師 奈良市中央消防署 第一救助係長 西尾利幸氏)

2. 大阪支部との合同防災実技講習

- とき・ところ：10月5日・大阪市消防学校 ○参加者：木本支部長他 21名
○主な内容：消火訓練・暗闇歩行訓練・非常時脱出訓練など、大阪消防学校で大阪支部と合同で開催。

3. 日本防災士会全国支部長会議

- とき・ところ：10月25日・東京都長田町「TBR ビル」 ○出席者：木本支部長、植村事務局長

4. 奈良県表敬訪問

- とき・ところ：12月18日・奈良県庁内、安全安心まちづくり推進課
○県庁訪問者：木本支部長、中田・木村副支部長、植村事務局長、中川幹事
○用件：防災士会設立の表敬訪問及び奈良県への協力依頼を行う。

II. 防災関係研修会

1. 奈良市防災センター主催「応急手当普及員講習会」

- とき・ところ：10月21・22・23日・奈良市防災センター ○参加者：中川幹事他 7名

2. 奈良県主催、防災講演会

- とき・ところ：12月13日・王寺町やわらぎ会館 ○参加者：木本支部長他 6名

3. 奈良県主催自主防災セミナー

- とき・ところ：1月10日・奈良県総合社会福祉センター ○参加者：木本支部長他 5名
○このセミナーで、木本支部長が講演し、防災士会への参加を呼びかけた。
又、奈良県支部の中村さん（奈良市）、大和さん（三郷町）が防災活動で県から表彰を受けた。

4. 奈良県社会福祉協議会主催研修会「大地震に備える」

- とき・ところ：1月17日・奈良県総合社会福祉センター ○参加者：木本支部長他 6名

●昨年度は役員会3回・事務局会議3回を開催し、支部運営及び組織体制・広報紙発刊について協議した。

防災実技講習会に参加して

○防災実技講習会（大阪支部との合同開催）

○とき：平成20年10月5日

○ところ：大阪市消防学校

○カリキュラム

防災学習：「燃焼と消失・地震発生・大阪市の防災対策」

実 技：1.粉末消火器訓練／2.可搬式ポンプ操作訓練
3.煙中体験・避難訓練／4.暗闇体験・避難訓練
5.救出救護訓練



この日の研修では、やってみなくては実感できない、けれども、日常なかなかやってみることができない、そういった訓練がいろいろありました。

特に煙中体験では、住宅火災で煙がどのように広がるのかははっきりと見る事ができました。また暗闇体験では、災害が明るいつきに起きるとは限らないということを再認識させられました。

今後も定期的に参加し、技術をしっかりと身に付けていかなければならないと思いました。

日本防災士会 奈良県支部 御門久実（菟田野郵便局長）

防災士紹介 No.1 木村尚史氏

私は平成 16 年 4 月に防災士の資格を取得した。高名な先生方の講義を受け、私のこれまでの防災や災害についての知識と認識不足を大いに痛感させられる内容であった。「防災士とは『自助』『互助』『協働』を原則として、社会のさまざまな場で、減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識・技能を有する者として認められた人」ということであるが、正直なところ、せっかくの資格が全く活かされていない。

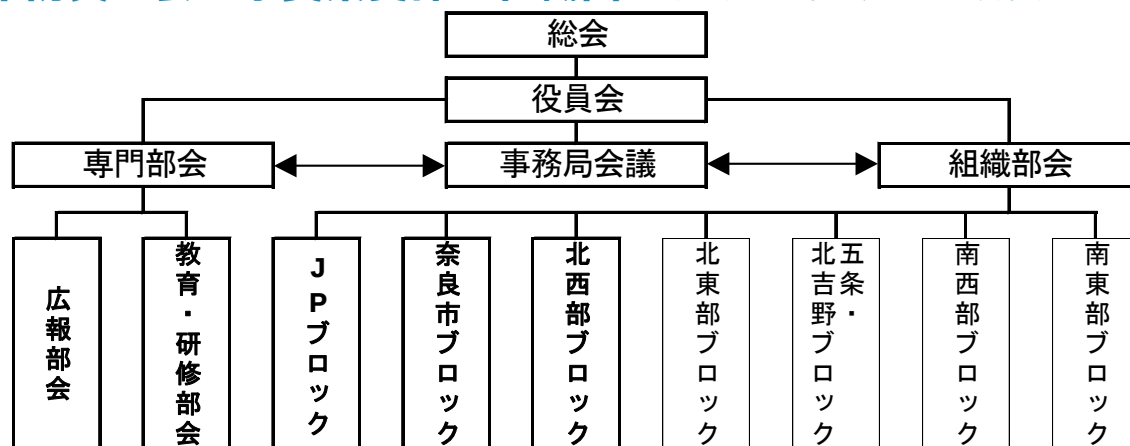
その原因は専ら自らの努力不足に帰するが、弁解を許されるなら一つだけ感じることもある。それは防災士が本当に機能するレベルになるには組織の強力な先導が不可欠ということである。資格取得に当たって消防署で普通救命の実習を受けたが、いま危急の事態に遭遇したとき、学んだとおりの確な対処ができる自信がない。やはり繰り返し学べる機会が必要であり、それを可能にするのが組織ではないだろうか。

そんな切なる想いを裏打ちするように、去る平成 20 年 4 月 27 日に「日本防災士会奈良県支部」が設立され、県内 3 地区会の資格を持つ多くの局長も協力した。今後、郵便局長としての立場を踏まえ、組織としての取り組みにしっかりかかわり、自らの活動に活かしてゆく決意である。



日本防災士会 奈良県支部 副支部長 木村尚史（名柄郵便局長）

日本防災士会 奈良県支部 組織図（平成 21 年 4 月 11 日現在）



防災士会入会のご案内

私どもは防災士として地域で防災に取り組んでいます！私達と一緒に防災士として活動しませんか？

ご入会の問合せは、下記事務局へ電話またはメールでお願いいたします。

●防災士の活動

- 防災士は、防災に関する基本的な知識と技能を有し、「災害への備え」を担います。
- 防災士は、社会全体の継続的な防災力向上をお手伝いします。
- 平常時には、日頃から地域や職場の防災活動に取り組む“ボランティア”です。
- 災害時には、公的支援が到着するまでの間に、被害の拡大を軽減するために活動します。

●防災士会は…

- 常に進化する防災知識や技能について、情報の提供に努めます。
- 防災士相互の協力促進に取り組みます。
- 個人では取組の難しい活動にも、団体として取り組みやすくなります。



編集後記

奈良県支部創立 1 周年にあたり、広報誌を発刊できました事は、会員皆様方の「自助」「共助」のおかげと感謝申し上げます。支部会員として、地域の平時における“減災活動”に、益々ご努力ください！

広報部長 佐々木 章

■発行日：2009 年 4 月 11 日

■発行者

日本防災士会奈良県支部 支部長 木本喜信
〒631-0014 奈良県奈良市朝日町 2-395-10

■事務局

日本防災士会奈良県支部 事務局長 植村信吉
〒636-0215 奈良県磯城郡三宅町上但馬 1-5
電話：090-8378-1106
Email: bousaishikai_nara@yahoo.co.jp